

〔シンポジウム〕

# バルト諸語とその隣人たち — 民族と言語をめぐる諸相 —

2017. 6. 17. SAT.

会場 上智大学四谷キャンパス図書館

9階L911号室

予約不要 入場自由

問合せ先 上智大学ヨーロッパ研究所

Tel: 03-3238-3902

E-mail: i-europe@sophia.ac.jp

主催 日本スラヴ学研究会

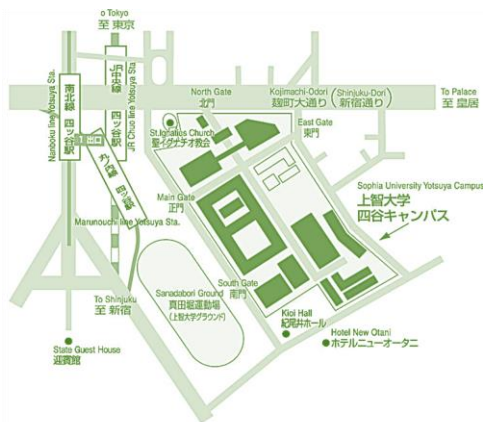
上智大学ヨーロッパ研究所

協賛 科学研究費基盤(A)25243002

「越境と変容—グローバル化時代におけるスラヴ・ユーラシア研究の超域的枠組みを求めて」

後援 駐日リトアニア共和国大使館

白水社



## PROGRAMME

14:00-14:05

開会挨拶

総合司会

木村護郎クリストフ（上智大学）

14:05-16:05

第1部 シンポジウム

バルト諸語とその隣人たち  
— 民族と言語をめぐる諸相 —

司会 野町素己（北海道大学）

櫻井映子（東京外国語大学）・堀口大樹（岩手大学）

「リトアニアの多言語性—ラトヴィアとの比較—」

清沢紫織（筑波大学大学院）

「バルト諸国のベラルーシ人とその言語をめぐる」

栗林裕（岡山大学）

「バルト・スラヴ語世界におけるチュルク系少数言語  
— カライム語とガガウズ語 —」

三谷恵子（東京大学）

「環バルト海地域における言語接触と言語変化」

16:15-18:25

第2部 講演会

イネタ・ダバシンスキエネ博士  
（ヴィータウタス・マグナス大学）  
オリガ・ヨコヤマ博士（UCLA）  
（使用言語 英語；詳細は別紙参照）

18:25-18:30

閉会挨拶 沼野充義（東京大学）

